

ウ 特別研修

- 城郭調査課程 平成6年5月10日～5月17日
荒木 隆 福島県教育庁文化課
- 製鉄遺跡調査課程 平成6年10月25日～10月28日
末永 成清 (財)いわき市教育文化事業団
- 人骨調査課程 平成7年3月7日～3月16日
西村 博幸 (財)福島市振興公社

(4) 埋蔵文化財保護普及活動

埋蔵文化財調査報告書の刊行

- ① 福島県遺跡分布調査報告 1
- ② 母畑地区遺跡発掘調査報告 35・36・37
- ③ 一般国道6号バイパス遺跡発掘調査報告 1
- ④ 東北横断自動車道遺跡調査報告 26・27・28・29
- ⑤ 原町火力発電所関連遺跡調査報告 V・VI
- ⑥ 相馬開発関連遺跡発掘調査報告 III

(5) 埋蔵文化財周知事業

平成3年度から平成7年度までの5ヶ年の計画で、県下全域を対象に、より詳細な分布調査を実施し、埋蔵文化財

包蔵地の実態をより正確に把握し、その周知徹底を図るとともに、文化財保護の基礎資料として「埋蔵文化財包蔵地分布図」及び「地名表」を整備する。

平成6年度は、県下全域において補充調査を実施し、およそ540箇所の埋蔵文化財包蔵地を追加確認し、遺跡台帳等を整備した。

(6) 県内の発掘調査等の状況

発掘調査（試掘調査を含む）の原因別・地区別の通知等の件数は下表のとおり。

原因では、道路建設・都市計画の区画整理を含む宅地造成、農地開発に関連する土木工事によるものが上位を占める。

また、近年の傾向は大規模開発が増加することにより、工法対応による部分調査で対応し切れずに、全面調査となる遺跡が多く、その結果1遺跡あたりの調査面積が広がってきている。開発件数の増加に加え、面積の拡大もあって、全体として発掘調査料は膨大なものとなっている。

平成6年度発掘調査件数

(平成6年4月～7年3月)

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
農業関係 (国・県・団体)		9		10				19
都市計画等	5	1	5	1		4	9	25
道路建設	17	10	3	4	4	6	15	59
河川・ダム・空港	13			1				14
宅地造成等	12	4	3	5		4	4	32
学校建設	1		1					2
その他の建物	14	4		1		8		27
電気・ガス・水道	2			1		5		8
ゴルフ場・土取り				1				1
その他	8	6	3			1		18
学術調査	2	2		3	1	2	1	11
計	74	36	15	27	5	30	29	216

発掘調査件数216件の内訳は、県教育委員会が実施したもの18件、市町村教育委員会が実施したもの114件です。なお、事前協議のための試掘調査は、84件です。